

新年のご挨拶

理事長 澤野親司

館長 衛 紀生

明けましておめでとうございます。昨年は皆さまをはじめ可児市文化芸術振興財団の皆さま方のご支援をいただき、おかげをもちまして事故などもなく、無事一年間順調に活動できました事に深く感謝申し上げます。ボランティア活動には、多くの問題や課題などがあり、それはトップダウン方式とは異なり、軌道修正することが容易ではなく、会員一人ひとりの意識が変わらなければならないと考えます。alaクルーズも設立より7年が経過し、活動に対する意識が与えられたものを行うから、自身が率先し意欲的に参加し楽しもうという気運に、少しずつ変化が見られるようになった気がします。この気持ちの変化は、充実感や満足感が全く違い、次へのエネルギーの源となり、クルーズの活性化に繋がると考えます。「楽しくて、やり甲斐のあるクルーズ」を目指し、今年も各理事共々頑張っていく所存ですが、皆さま方にも尚一層のご協力・ご尽力をいただき、昨年以上に飛躍の年となることを願っています。



新年明けましておめでとうございます。旧年にも増しまして今年も宜しくお願ひいたします。私が就任して丸二年を迎えようとしています。今年の四月になれば、三年目のスタートです。そろそろ私の考えている真の意味での「地域劇場」へのアクセルを踏まなければならない時期になりました。その実現には、alaクルーズのお力添えが不可欠だと思っています。中央から何かを買って、福祉配給的に鑑賞事業を愛好者に提供するだけの公共ホールの時代は終わった、と私は考えています。いまこそ、可児市民から付託された「アーラのある町に住んでよかった」という環境形成に大きく関わるときです。それができたときに本当の意味での「地域劇場」が、日本で最初に可児で産声をあげると考えています。手間と時間がかかり、収益に結びつかないコミュニティ・プログラムですが、ワークショップ、アウトリーチなどの比重をこれから少しずつ多くしていきます。思い出が一杯詰まっている市民たちの「人間の家」になるために鑑賞事業を削ってもそちらを多くしたいと思います。そのための伴走者として、alaクルーズとの協働は非常に重要です。市民の皆さんに心から喜ばれるコミュニティ・プログラムは、alaクルーズの活性化にも当然つながります。良いものを鑑賞していただくことも大切です。フロントスタッフとして、お客さまをお迎えするのも大事です。が、それと同じ価値で、これまでアーラに縁のなかった方々の中に飛び込んで行くことこそが、市民からの付託に応える「地域劇場」に近づく道だと確信しています。そうならないのなら、アーラは何処にでもある公共ホールになってしまいますし、ならば私がここにとどまる意味はないですし、民間に指定管理者を譲っても致し方ないと思います。そんな公共文化施設は全国何処にでもあるのですから。アーラの「人間の家」へのシフトチェンジに、是非ともalaクルーズと手を携えたいと強く思っています。今年をその「人間の家・元年」にしましょう。本年も宜しくお願ひ申し上げます。

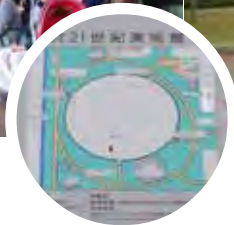


金沢研修視察



平成20年10月25日（土）金沢視察研修がありました。参加者は33名で、午前7時15分に出発しました。バスの中で、澤野理事長の挨拶があり「兼六園の紅葉はまだ1ヶ月早い」とのこと。続いて箆橋局長の「3回目の視察になります。alaクルーズができる時、視察した金沢市民芸術村は市民参加が盛んです。」などの話を聞きました。スケジュールは金沢21世紀美術館（展示ボランティア、情報ボランティアなど200名ほど登録者有り）に行った後、金沢市民芸術村を視察しました。5つある各工房を担当の金山ディレクターに案内していただき、ドラマ工房では、スタジオ内に入り、影

絵とペダルスチールギター等のコラボのリハーサル風景をのぞかせてもらいました。最後に金沢市民がとても芸術を愛しているという話を伺いました。建物は大正8年に建てられた紡績工場で、絵になっていました。周囲には広い芝生のグラウンドがあり、スポーツを楽しむ家族連れも多く見受けられました。芸術村の目下の悩みは駐車場で、どこも同じだなあと感じました。有意義な時を過ごした後、兼六園でフリータイムを過ごしそれぞれ散策を楽しみました。この日、学んだことを今後の活動に役立てていきたいと思いま



金沢視察研修記

昔から北陸は「弁当を忘れても傘を忘れるな」と言われていますが、前日の雨とうって変わり晴天に恵まれ、飛騨路は紅葉真っ盛りでとてもきれいでした。金沢21世紀美術館は、円形の建物でその中に交流ゾーン・美術館ゾーン・展示室などがあり、迷路みたいになっており多くの人が入り込んでいました。金沢市民芸術村は、旧紡績倉庫を改築し全日24時間使用でき、ドラマ工房・ミュージック工房・アート工房があり、見学に行った時は若者達がライブの準備をしていたり、ジャズの演奏をやっていました。昔から伝わってきた文化が今に繋がっている、そんな思いがしました。伝統を守りながら新しいものにチャレンジしている加賀百万石で生まれた人達ならではの文化だと思います。フリータイムは、お土産を買う人、兼六園に行く人、市場に行く人それぞれ楽しい時間を過ごし、帰りのバスはお土産でいっぱいになりました。とても楽しい1日でした。（K）





こんなのがいいじゃない

なんで? おかしいな~

イルミネーションプロジェクト

10月中旬クルーズでイルミネーションを創ろうという話が持ち上がり、16日に作成希望者12人の初顔合わせとなりました。まず、どのスペースにどんな形で飾り付けをするのか決めるまでが大変! 「アーチ型は?」「予算的に短くなる」「芝生に電球を川のように」「歩くとき引っかかって危ない」「芝生に板を立てて絵のように」「強風だと倒れるかも?」クルーズらしいものを…インパクトのあるものを…予算内で…。最終的には芝生のステージ台に設置することになり、飾りも音楽性のあるものにしようと決まりました。各自、針金の枠作りの宿題をもらい、第一日目は終了。寺松実行委員長の元で2,3回目には音符やギターなどの枠に電球をくくりつけました。いい調子! などと思っていたら大変なことが! 途中の何メートルかが点灯しない。がっかり、やり直し。メイドインどこ? やっと20日に完成し24日にステージに取り付け、27日夜、試験点灯にこぎつけました。点滅も成功! 大変だった蛸足配線の苦労も忘れ感激…もつかの間。点灯のままのほうがいいとの意見がでて、又、配線のやり直し。でも28日の点灯式には皆さんの感激の声が聞け、満足したクルーズのメンバーの顔がイルミネーションの横で輝いていました。



これでしょ?



ちょっと上げて



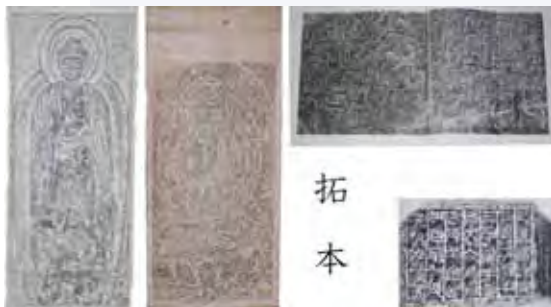
やった!!



クルーズ企画只今進行中

拓本

展示品約 50 点を選定中
皆さんに楽しんで見て
いただけるよう準備し
ています



平成 21 年 2 月 18 日～23 日
可児市文化創造センター
美術ロフト

平成21年2月8日虹のホール
(小劇場) で開催いたします。
今回はビッグバンドジャズです。
総勢 20 人で奏でる迫力満点の
ジャズコンサート。聴きなれた
軽快なメロディで耳に心地よい
Jazz をお届けします。出演は
岐阜県内外で活躍するSJC Jazz
Orchestra。チケット発売は11
月1日から好評発売中です(残席わずか)。今回のクルーズ
コンサートもご期待ください。

ala クルーズコンサート Vol. 5

Big Band Jazz

SJC Jazz Orchestra



チケット発売中
チケット代 1,000円
会場 虹のホール(小劇場)
主催 ala クルーズ事務局
後援 可児市文化創造センター

クルーズコンサート vol.5

平成 21 年 2 月 8 日 (日)
午後 2 時開演
大人 1,000 円
中高生 500 円



封書詰め(11/17)

今年度の封書詰めが行われました。今回は全部で2800通、全て郵送されるものです。封書詰めは午後1時から始まり、財団職員とalaクルーズの共同作業によって手際よく詰められました。封書の中には、主に会員新聞をはじめチケット先行予約販売のお知らせや、来春に向けたパンフレットの案内などが折り込まれています。郵送先は、可児市内52%市外約48%です。この封書の到着を楽しみにしている人も多いそうです。そして送られたDMでチケットの予約をいただくこともあり、この封書詰めも大変な作業ですが「ala」にとって最も大切な役割を果たしています。

編集後記

あけましておめでとうございます。
大晦日に除夜の鐘を聞きながら108の
煩惱を捨てて、新しい年を迎えられた
ことと思います。昨年は広報委員とし
て取材の中で、皆さんに“感激や笑
顔”をいただきました。今年も皆さん
とともに夢に向かって頑張ります。(H)



ala クルーズ事務局 TEL/FAX : 0574-61-3414
http://www.kpac.or.jp/alacrews/
Mail : ala-crews@kpac.or.jp